

## 十勝岳縦走&雨竜沼湿原

山行日 2020年7月16日～20日

参加者 L/K地 SL/W部 O川 Y田M A柳

行程 16日 成田13:00-新千歳14:45-レンタカー16:00-吹上温泉19:00

17日 白銀荘5:00-十勝岳温泉登山口5:30-上富良野岳分岐6:50-富良野岳分岐  
-8:35/46-富良野岳9:30/10:00-三峰山12:00  
-上富良野岳12:35/13:05-上ホロ避難小屋13:50

18日 避難小屋5:00-十勝岳6:30/7:10-昭和火口8:50-十勝岳避難小屋10:00/15-  
雲の平分岐10:35-吹上温泉分岐11:00/11:12-吹上温泉白銀荘12:25/13:21-バス  
-十勝岳温泉登山口13:30-レンタカー青の池-フラヌイ温泉16:00

19日 フラヌイ温泉7:00-南暑寒荘登山口9:00/30-白竜ノ滝-湿原展望台11:50-  
湿原周遊-展望台13:08/13:20-南暑寒荘登山口14:54-日の出ドライブイン16:00

20日 日の出ドライブイン8:00-道の駅等により-新千歳14:00/18:00-成田19:30

費用 飛行機往復 22,310円 レンタカー49,850/1人(9,970) ガソリン代5,000/(1,000)

高速代3,390(678) バス200 宿泊費3日間14,600 湿原入山料500 アルコール代(5日分?)

天気 すべて快晴 ☀ ☀ ☀ ☀ ☀

### プロローグ

まだコロナウイルスがそれほど問題になってない2月初め私と秀美さんと十勝岳への計画を話してる時に周りにいた人間が集まった異色のメンバーが発足。レンタカー利用での5人が即決定し、公開に至らず。2月中旬に安い航空券を予約。それから自粛生活になり、札幌なども感染者が多くなっていたが誰もキャンセルする人がいなく16日新千歳空港へ下りて旅は始まる。

(編集 K地)

17日 朝日を浴びて元気に出発 (十勝岳温泉登山口)



本日は避難小屋泊  
久々の縦走 シュラフ等、  
で荷物が重い!でも  
雪渓で冷やして飲む  
ビールはしっかりと持参



あの頂(上ホロカメトック山)を超えれば今宵の宿 避難小屋が見える  
アクシデントで右にある巻き道へここに雪渓が消えた直後なのかお花畑が！



事故がこんな所で！

上富良野岳山頂の平な所でザックを担ぐ時にちょっとよろけた感じでした。(本人も何が起きたか?)  
右足首が痛いので応急処置をして避難小屋に向かう。

十勝岳縦走は一昨年から温めて来た場所です。コロナの中、多少心配はありましたが、みんなの行こうという気持ちが強かった為に実行できたのだと思います。  
お天気にも恵まれてとても思い出に残る山行になりました。

今回のアクシデントは想定外の事でした。今は反省！反省！反省！です。  
改めてリーダーをはじめ皆さんには感謝致します。(W部)



18日十勝岳へ向けて出発  
避難小屋が左に小さく見えます。  
この小屋で見た星空最高でした。



コースタイムの30分超過ぐらいで十勝岳山頂へ  
下りの方が大変だったと思う



昨日の富良野岳とは全く違う山容  
活火山の十勝岳を実感  
噴火で飛んだ石が散乱している  
こんな風におしゃべりしながら歩いていたの  
だろうと御嶽山の噴火を思い出す

毎日「快晴」楽しかった十勝岳山行  
(O川)

7月16日、十勝岳に行ける日が来ました。コロナウイルスのため、県越えの移動の自粛、千歳まで往復の飛行機が飛ぶのか飛ばないのか等々、今まで経験した事の無いことが色々あり、一時は行かないかもと心配でした。

成田空港から飛行機に乗れた時は、これで本当に行けると気持ちが高まり「うれしかったです」。千歳空港からレンタカーで十勝岳温泉郷吹上温泉の白銀荘に行きそこで宿泊しました。その夜から毎日夜は楽しい宴会で盛り上がっていました。

17日から登山開始です。毎日天気に恵まれ、沢山の花、きれいな夕日、景色も素晴らしかったです。日中は日差しが強く暑いのですが、日陰と夜は涼しく北海道を肌で感じました。リーダーのおかげ、メンバーの明るさと賑やかさ満開で楽しい山行でした。



酒豪揃いだねと誰かに言われた  
確かによく飲みました。負傷の体に良かったのか・・・  
誰も二日酔いにならず、翌日は元気に歩きました。

## 番外編

山の出会いは素晴らしい。

今回もまた、様々な出会いがありました。

富良野岳では、やたらと花に詳しいおじさんに出会えてなかったら、青く美しい花、優しい緑色の株の固有種で絶滅危惧種のヱブルウのことは、気付かずスルーしていたかもしれません。目にできたのは2株だけ。本当にラッキーでした。

上カマツク避難小屋では、1200!!のザックを背負った地元山岳会のボランティアのおじさんが、小屋の修理に現れました。稜線に出て、雲海の中に日が沈むのを見ていると、反対側に影がすーっと一本。ブロッケン現象だよ、と教えてくれました。初めて見たブロッケン現象、忘れられない感動がありました。

十勝岳山頂では、親切な男女3人のパーティーが、写真を撮ってくれたり、道を教えてくれたり、頂いたドーナツの美味しかったことと言ったら・・・

その他にも、いろんな出会いがありました、

何と言っても、一番の出会いは、今回ご一緒させて頂いたこのメンバーです。

最初の計画、航空券をとるところから、みんなに目を配り気を配りまとめてくれたリーダーのKさん。明るくておしゃべりが楽しくて、ものすごいガッツの歩きのサブリーダーWさん。後ろから見るとザックが歩いている様な可愛さの、お風呂大好きOさん。コミュニケーション能力抜群で、他のパーティーともあつという間に仲良しになれるYさん。皆さんと過ごさせて頂いた五日間は、たくさん勉強させて頂いて、楽しくてあつという間でした。至らないことばかりでしたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

新たなる出会いを求めて、再びこの5人で山に行ける日を、首を長くして楽しみにしています。

(A 柳)

